



# 窪町だより

窪町小学校 令和4年度1月号

窪町小学校ホームページ URL: <http://www.bunkyo-kyo.ed.jp/kubomachi-ps/>

「春」

校長 西幅 孝弘

保護者のみなさま、地域のみなさま新年おめでとうございます。

開校97周年を迎える窪町小学校は、本年も子どもたちの心と体の安全・安心を最優先し教育活動に邁進してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

【確かな学びに向けて】

令和4年度全国学力・学習状況調査の質問紙調査では「総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表する活動に取り組んでいますか」について肯定的回答は、全国平均が72.7%に対して本校は89.6%という高い結果が示されました。また「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」の項目では全国平均を8.1ポイント上回る結果となりました。変化の大きなこの社会を強く生きる「自律した学習者」を育むための授業展開がこの結果に繋がったと考えています。予測の難しい社会の中でどのように納得解を得て、他者と協調していくかが問われる時代、一つの分野の専門性だけではなく周辺分野の知識の統合・深化が、だれも正解を知らない課題に挑む力となると考えています。

【地域とともに】

昨年一年間、社会科や総合的な学習をはじめ行事や各教科等において地域学校協働本部をはじめ近隣にお住まいの方々や保護者のみなさまに多大なご協力をいただきました。特に校外学習では多くの方に見守り活動をしていただきました。延べ人数は300名を優に超える方にお世話になりました。登下校の見守りをしていただいた地域町会の方や朝遊びの応援団のみなさまの数を入れますと数え切れなくなります。また、授業ゲストとしてご協力いただきました学習活動の一部は、令和5年度より文京区の3年生が使用する社会科副読本「わたしたちの文京区」に掲載されます。地域に支えられ「街全体が学校」という言葉がぴったりの窪町小学校です。

【思いやり】

本校では日頃から「人権尊重」に重点を置き教育活動にあたっています。言葉だけのスローガンにすることなく広い視野と鋭い人権感覚をもち「子どもたち一人ひとりに寄り添う」「Stand by you」の姿勢をもって取り組んでまいります。昨年全校朝会では、子どもたちの「よさ」「努力」「やさしさ」「可能性」に目を向けて毎回話をしてきました。他者を認め励ます目と心、今自分にできる努力の大切さを伝えてきました。いくつか紹介します。

「雨の朝、けがをしている友だちが傘をさせないので、自分の傘で守ってあげて登校している2年生がいました。

自分は濡れながら友だちを大事にしてくれていました。」

「3年生は、高齢者施設の方々とオンラインでの交流をしました。どう表現したら楽しんでもらえるのか、工夫しながらスクリーンに向かって発信している温かい姿がありました。」

「登校途中で転んでしまった1年生と手をつないで登校してくれた4年生がいました。このやさしさを、1年生は大きくなっても覚えているかもしれませんね。」

「勤労感謝の日、交通安全指導をしてくださっている方に家で書いてきた手紙を渡してくれた1年生がいました。その方があまりうれしかったので伝えてくれました。」

「連合陸上記録会の前に、5年生が自ら壮行会を開きました。あの大きな声と拍手は、6年生の背中を押し、励ましてくれました。」

「学校全体のことを考え、行事ではいつも見えないところで活躍し、1年生の学習や生活全般でお手伝いをしてくれているすてきな6年生がいます。」

令和5年、この一年も窪町小学校は社会・保護者からの負託に精一杯応えていきたいと考えています。そして、子どもたちの笑顔の日々を目指します。暖かな春に向かって焦らずゆっくりと着実に歩みます。

## 音楽会を終えて

(音楽専科 宝田雄介)

3年に一度行われる音楽会、今年はコロナ禍で開催も危ぶまれましたが、橋爪純子実行委員長を中心として、全教職員が協力し、知恵を絞ることで実施することができました。また、各学年リハーサルと本番3回演奏することで、密にならずに全学年を鑑賞することができたことも大きな成果だと思います。

体育館での練習では、初め下を向いていた児童が、日ごとに表現することの楽しさに目覚めていく様子を見ることができました。それはまるで、小さなつぼみが鮮やかな花になって咲き誇るようでした。一人一人の児童が、自分なりの花を一生懸命咲かせようとする姿は、とても感動的で今も心に焼き付いています。また、校内の至る所に、児童が図工の時間などで作成した「花」も音楽会に彩を添えました。

保護者のみなさま、音楽会の開催に向けて様々な面でご協力いただき感謝いたします。

## 内書き初め展について

(書写担当 高橋 りな)

1月11日(水)～16日(月)に、席書会を行います。1・2年生は各教室で硬筆の書、3～6年は体育館で毛筆の書に臨みます。新春の候、しんとした厳肅な雰囲気の中で気持ち新たに筆をふるい、のびのびと表現してくれることを楽しみにしています。

また、席書会で書いた作品は「校内書き初め展」として、各学級前に展示する予定です。朝の時間や中休みの時間を活用して、学年を超えてお互いの作品を鑑賞し合い、それぞれのよさを認め合う機会としたいと思います。これを機に、普段、字を書くときにも、一画一画丁寧に書くことが習慣づくとういと思っています。

\*保護者のみなさまには、書き初め展の様子を生で鑑賞していただきたいところですが、感染症拡大のため、1月、2月の保護者会の際、画像等でご鑑賞いただけたらと思っています。詳しくは、学年便りでご確認ください。

## むかしあそび

(1年担任 伊藤 嘉則)

1年生は生活科「むかしからつたわるあそびを たのしもう」の学習で、けん玉やお手玉、こまなどに挑戦します。伝統ある遊びを体験することで、何度も挑戦してできるようになる喜びや、上手になっていくうれしさを感じ、あきらめずに努力する姿勢を育てていきたいと思っています。

新型コロナウイルスの影響で友達と触れ合いながら一緒に楽しむということはできませんが、感染防止に気を付けて、子どもたちが楽しく活動できるようにしていきたいと思っています。

